

ハローワークの主要指標等の実績（8月分・中間報告）について

(1) 各ハローワークごとの主要指標等の実績（8月分）について

宮崎労働局管内のハローワークの取組について① 【主要3指標】

- ハローワークでは、お仕事探しをされている求職者の方への就職支援、人材を確保したい地域の企業の求人充足支援などを中心に様々なサービスを展開しています。
- また、各ハローワークでは、管内の特徴を踏まえ、それぞれの課題に応じた取組を実施します。
- 平成28年度の各HWの主要指標の目標及び実績は下記のとおりです。

1. 主要3指標について

	①就職件数 (常用)				②充足件数 (常用)				③雇用保険受給者の 早期再就職件数 (※)			
	28年度目標	8月実績	累計	進捗率	28年度目標	8月実績	累計	進捗率	28年度目標	7月実績	累計	進捗率
宮崎	9,136件	708件	3,744件	41.0%	9,428件	745件	3,958件	42.0%	2,565件	222件	880件	34.3%
延岡	3,600件	277件	1,477件	41.0%	3,212件	237件	1,255件	39.1%	720件	82件	292件	40.6%
日向	2,577件	202件	1,117件	43.3%	2,300件	202件	1,055件	45.9%	550件	42件	197件	35.8%
都城	4,861件	387件	2,209件	45.4%	4,663件	358件	2,004件	43.0%	1,597件	118件	521件	32.6%
日南	1,730件	126件	725件	41.9%	1,500件	109件	645件	43.0%	450件	32件	166件	36.9%
高鍋	2,518件	195件	1,059件	42.1%	2,155件	177件	918件	42.6%	543件	39件	209件	38.5%
小林	2,000件	161件	831件	41.6%	1,800件	144件	791件	43.9%	435件	42件	180件	41.4%
【宮崎労働局計】	26,422件	2,056件	11,162件	42.3%	25,058件	1,972件	10,626件	42.4%	6,860件	577件	2,445件	35.6%

※雇用保険受給者の早期再就職件数は、基本手当の支給残日数を所定給付日数の3分の2以上残して早期に再就職した件数です。なお、当該実績については1月遅れての公表となります。

2. 各ハローワークの課題別の重点指標について

※各ハローワーク管内の課題に応じて、ハローワークごとに目標を設定しています。

※指標の設定数はハローワークの規模により異なります。

ハローワーク宮崎

重点指標	28年度目標	8月実績	累計	進捗率
①生活保護受給者等の就職件数	342件	38件	180件	52.6%
②障害者の就職件数	409件	38件	225件	55.0%
③学卒ジョブサポーター支援による正社員就職件数	1,932件	172件	504件	26.1%
④ハローワークの職業紹介により正社員雇用に結びついたフリーター等の件数(※1)	1,859件	131件	583件	31.4%
⑤マザーズハローワーク事業における担当者性による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率	88.5%	91.4%	90.3%	—
⑥介護・看護・保育分野の就職件数	2,133件	163件	839件	39.3%
⑦生涯現役支援窓口での65歳以上の就職率	47.0%	150.0%	88.0%	—

ハローワーク延岡

重点指標	28年度目標	8月実績	累計	進捗率
①生活保護受給者等の就職件数	203件	19件	75件	37.0%
② マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率	88.5%	84.6%	87.3%	—
③正社員求人数	4,441件	368件	1,940件	43.7件
④正社員就職件数	1,755件	127件	662件	37.7%

※1 「ハローワークの職業紹介により正規雇用に結びついたフリーター等の件数」の実績については、1月遅れての公表となります。

ハローワーク日向

重点指標	28年度目標	8月実績	累計	進捗率
①ハローワークの職業紹介により正社員雇用に結びついたフリーター等の件数(※1)	480件	33件	160件	33.3%
②公的職業訓練修了3ヶ月後の就職件数(※2)	132件	7件	65件	49.2%
③建設分野の就職件数	115件	8件	36件	31.3%

ハローワーク都城

重点指標	28年度目標	8月実績	累計	進捗率
①生活保護受給者等の就職件数	185件	20件	54件	29.2%
②マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率	88.5%	87.5%	89.9%	—
③正社員求人数	8,103件	810件	3,768件	46.5%
④正社員就職件数	2,700件	212件	1,158件	42.9%
⑤介護・看護・保育分野の就職件数	1,116件	84件	451件	40.4%

ハローワーク日南

重点指標	28年度目標	8月実績	累計	進捗率
①生活保護受給者等の就職件数	42件	6件	23件	54.8%
②正社員求人数	2,164件	173件	1,020件	47.1%
③正社員就職件数	840件	51件	315件	37.5%

ハローワーク高鍋

重点指標	28年度目標	8月実績	累計	進捗率
①生活保護受給者等の就職件数	84件	11件	87件	103.6%
②公的職業訓練修了3ヶ月後の就職件数(※2)	69件	18件	57件	82.6%
③正社員就職件数	1,153件	74件	471件	40.9%

ハローワーク小林

重点指標	28年度目標	8月実績	累計	進捗率
①生活保護受給者等の就職件数	42件	5件	32件	76.2%
②正社員就職件数	1,000件	90件	392件	39.2%
③介護・看護・保育分野の就職件数	391件	44件	173件	44.3%

※1 「ハローワークの職業紹介により正規雇用に関わったフリーター等の件数」の実績については、1月遅れての公表となります。

※2 「公的職業訓練修了3ヶ月後の就職件数」の実績については、6月遅れての公表となります。

(2) 各ハローワークごとの主要3指標の中間報告について

HWごとの主要3指標に関する中間報告 【① 就職件数（常用）】

	年度目標	7月までの実績	進捗率	重点的に取組んだ事項	今後の取組方針
宮崎	9,136件	3,036件	33.2%	○求職者支援の充実 ・求職者ニーズを踏まえ、今がチャンス求人(正社員で充足可能性の高い求人)とのマッチングを積極的に行い、求職者に対し、より多くの求人情報を提供。 ・求職者担当制で支援する対象者を増やし、きめ細やかな相談・支援を実施。	○求職者支援の充実 ・左記の取組を継続実施。 ・左記の取組を継続しつつ、更なる対象者の増加に取組む。
延岡	3,600件	1,200件	33.3%	○求職者支援の充実 ・求職者の希望職種別の担当者制を敷き、求人情報の提供やマッチングの取組を実施。	○求人情報提供の強化 ・求職者ニーズの的確な把握に努め、新規求人や求人充足会議で選定した求人の情報提供の強化。
日向	2,577件	915件	35.5%	○求職者支援の充実 ・希望職種別に担当者制を置き、積極的な求人情報の提供、セミナー・面接対策等の支援を実施。	○求職者支援の充実 ・左記の取組を引続き実施するとともに、一定要件の未充足正社員求人の情報提供を実施。
都城	4,861件	1,822件	37.5%	○情報提供の強化 ・求職者ニーズの把握に努め、新規求人や求人充足促進会議で選定した求人のマッチングを推進し求人情報提供を積極的に実施した。	○情報提供の強化 ・セミナー等の各種支援サービス情報も含めて求職者への情報提供を継続実施する。 ・求職者担当制による求人情報提供を推進する。
日南	1,730件	599件	34.6%	○求職者支援の充実 ・求職者担当者制による、きめ細やかな相談・支援を実施。 ○求人内容の充実 ・求職者にとって理解し易い求人票となるよう、事業主等に対して「仕事の内容欄」の充実や、労働条件に関する助言指導を実施。	○正社員就職の促進 ・左記の取組を継続実施しつつ、正社員求人への応募可能な方には、リーフレットを活用し正社員就職への意欲を喚起。
高鍋	2,518件	864件	34.3%	○求職者支援の充実 ・相談窓口で各種支援メニューの案内、双方向の求職者担当者制を行う。	○求職者支援の充実 ・左記の取り組みを継続実施するが、担当者制を実施する職員を増員する。また、トライアル求人の紹介件数向上について目標を定め、正社員就職の促進に取り組む。
小林	2,000件	670件	33.5%	○就職意欲を高めるための取組 ・所独自の求職者支援セミナーの開催 ・求職者支援セミナーへの参加勧奨	○就職意欲を高めるための取組 ・左記の取組を継続実施 ・相談窓口への誘導の強化 ・ハローワークサービス案内活用により利用拡大を図る

HWごとの主要3指標に関する中間報告 【② 充足件数（常用）】

	年度目標	7月までの実績	進捗率	重点的に取組んだ事項	今後の取組方針
宮崎	9,428件	3,213件	34.1%	○求人票+α情報の収集・見える化 ・求人票だけでは見えにくい職場の雰囲気等の情報を求職者に提供するため、事業所の画像情報収集の取組を促進し、求人票+αの情報を見る化。	○求人票+α情報の収集・見える化 ・左記の取組を継続実施。 ・計画的な事業所訪問の実施により、最新の情報となるよう更新を含め対応。
延岡	3,212件	1,018件	31.7%	○求人者支援の充実 ・求人充足会議を毎日開催し、選定した重点支援求人票をその求人条件に合致する求職者へ送付。 ・求人情報紙(フルタイム・パートタイム・福祉・西臼杵地区別)を作成、地元スーパー等に配置。	○求人者への支援とサービスの充実 ・左記の取組を継続実施。 ・求職者情報(賃金などの希望を含む)の提供を行い、より充足しやすい求人者の提出を指導。
日向	2,300件	853件	37.1%	○求人者支援の充実 ・求人票の記載内容の充実や求人要件緩和について助言指導を実施するとともに、求人充足会議を毎日行い、マッチングを推進。	○求人者支援の充実 ・左記の取組を引続き実施するとともに、一定要件の未充足正社員求人について重点的に情報提供サービスを実施。
都城	4,663件	1,646件	35.3%	○求人者支援の充実 ・求人充足促進会議を毎日開催し、新規求人やアプローチ求人を選定し求職者への求人情報提供に積極的に取り組んだ。 ・人手不足分野の求人・求職情報誌を毎月2回発行・配布しマッチングの促進に取り組んだ。	○求人者支援の充実 ・選定求人者の重点化を図ったうえで左記の取り組みを継続実施する。 ・左記の取組を継続実施する。
日南	1,500件	536件	35.7%	○求人者支援の充実 ・求人充足会議を開催し、求人ごとの有効な求人対策を検討、実行。 ○求人票+α情報の収集・見える化 ・求人票だけでは見えにくい職場の雰囲気などの情報を求職者に提供するため、事業所の画像情報収集の取組を促進し、求人票+α情報を見る化。	○求人者支援の充実 ・左記の取組を継続実施。 ○求人票+α情報の収集・見える化 ・左記の取組に加えて、作業工程等画像と合せた説明のコメントを入れたPRシートを作成・情報提供。
高鍋	2,155件	741件	34.4%	○充足可能性基準に基づく取組 ・受理後1週間で1件のみ紹介している求人について求職者へ情報提供を行い、早期に2人目を紹介して充足に結び付ける。 ○求人条件緩和指導 ・受理後3週間経過しても紹介実績のない求人を中心に要件緩和等の指導を行い、応募しやすい求人として充足を目指す。	○充足可能性基準の実施 ・基準そのものは変えずに、求職者への情報提供に先立ち、事業所へ電話によるニーズ把握を行うことで、よりの確な支援を行うこととする。 ○求人条件緩和指導 ・左記については継続して実施するが、緩和指導の場面としては、職業紹介窓口でも十分にあり得ることを全員が意識して緩和求人者の増加を目指す。
小林	1,800件	647件	35.9%	○求人者支援の充実 ・求人充足会議を毎日開催する取り組み ・求職者ニーズを受けた求人条件緩和指導 ・「医療・介護」分野の専用求人コーナーを設けて各事業所・業界の情報を提供	○求人者支援の充実 ・左記の取組を継続実施

	年度目標	6月までの実績	進捗率	重点的に取組んだ事項	今後の取組方針
宮崎	2,565件	658件	25.7%	<p>○紹介窓口への誘導の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用保険失業給付の給付制限中に指定相談日を設け、職業相談窓口での相談を実施。 	<p>○紹介窓口への誘導の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・左記の取組を継続しつつ、指定相談日の利点（待ち時間の短縮等）をアピールすることで、窓口への誘導をより強化する。
延岡	720件	210件	29.2%	<p>○早期再就職意欲の喚起</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初回講習会等の際に個人別の再就職手当試算額表を手交することによる就職意欲の喚起。 	<p>○早期再就職意欲の喚起</p> <ul style="list-style-type: none"> ・左記の取組を継続実施。
日向	550件	155件	28.2%	<p>○早期再就職への意欲の喚起</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明会時に個人ごとの再就職手当の試算表を交付及び再就職セミナーへの積極的な誘導。 	<p>○早期再就職への意欲の喚起</p> <ul style="list-style-type: none"> ・左記の取組を引続き実施。
都城	1,597件	403件	25.2%	<p>○セミナー実施による就職促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・局主催のセミナーに加え所独自の「職務経歴書作成セミナー」や「面接力アップセミナー」、「応募書類添削指導」、「模擬面接」の受講推奨を積極的に実施した。 	<p>○セミナー実施による就職促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・左記の取組を継続実施する。
日南	450件	134件	29.8%	<p>○セミナー実施による就職促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用保険受給者の就職促進を図るため個別・基本型セミナーへ積極的に誘導。 <p>○早期再就職意欲の喚起</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初回認定日等の際に個人別の再就職手当試算額表を手交し就職意欲を喚起。 	<p>○セミナー実施による就職促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・左記の取組を継続実施。 <p>○早期再就職意欲の喚起</p> <ul style="list-style-type: none"> ・左記取組を継続しつつ、初回以外の認定日においても全員面接等を実施し、早期再就職の意欲を喚起。
高鍋	543件	170件	31.3%	<p>○就職支援セミナーの受講促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・求職者が採用される確率が向上するよう準備する機会として、各種セミナーへ誘導する。 <p>○再就職手当の個人別チラシの配付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・求職者ごとに再就職手当の試算表を作成し、初回講習会や初回認定日で周知する。 	<p>○就職支援セミナーの受講促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・左記の取り組みを継続実施するが、ふるさとハローワーク（西都情報センター）でもセミナー誘導を開始する。 <p>○再就職手当の個人別チラシの配付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・左記の取り組みを継続実施する。この他、求職者自身が認定日に持参する「気になる求人票」運動を徹底する。
小林	435件	138件	31.7%	<p>○早期再就職の意欲喚起</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所独自の求職者支援セミナーの開催 ・求職者支援セミナーへの参加勧奨 ・初回認定日全員相談の実施、雇用保険説明会時に個人別の再就職手当試算額を手交し就職意欲の喚起 	<p>○早期再就職の意欲喚起</p> <ul style="list-style-type: none"> ・左記の取組を継続実施 ・相談窓口への誘導の強化

※集計の都合上6月までの実績で評価

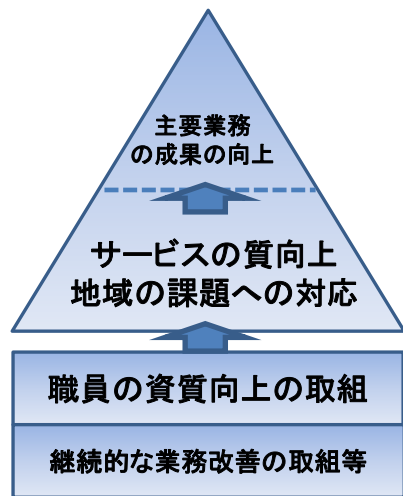
(3) ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善 の取組（概要）について

ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組（概要）

- ハローワークの機能強化を図るため、平成27年度から「ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組」がスタートしました。
- 地域の雇用の課題を踏まえた成果目標を掲げるとともに、主要指標等については、毎月実績を公表します。また、年度終了後には、当該年度の取組の総合的な評価をハローワークごとにまとめ、公表します。
- 労働市場の状況や業務量が同程度の全国のハローワークをグループ分けし、その中で比較・評価を行い、その後の業務改善に活かします。


PDCAサイクルによる 目標管理・業務改善の拡充

- ・ 現行の取組（就職率等を指標にしたPDCAサイクルによる目標管理）を拡充し、業務の質の指標を追加。
- ・ 地域の雇用の課題を踏まえ重点とする業務に関する指標を追加。
- ・ 中長期的な就職支援の強化のため、職員の資質向上や継続的な業務改善の取組を推進。



短期的な成果の向上だけでなく中長期的な業務の質向上・業務改善を図り就職支援を強化

ハローワークのマッチング機能の 総合評価・利用者への公表

- ・ 業務の成果や目標達成状況等を定期的に公表
→ 主要指標の実績を毎月、年度後半の取組強化のための分析を年度中に、総合評価を年度終了後に公表
- ・ 業務の成果や質、職員の資質向上・業務改善の取組等の実施状況をもとにハローワークの総合評価を実施。
→ 労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークをグループに分け、その中で比較し評価
- ・ ハローワークごとに実績・総合評価及び業務改善の取組等をまとめ、労働局が公表。


重点的に取り組んだ事項、業務改善を図った事項、業務改善が必要な事項、総合評価、基本統計データ、指標ごとの実績及び目標達成状況などを公表
- ・ 労働局は地方労働審議会、本省は労働政策審議会に報告。

評価結果等に基づく 全国的な業務改善

- ・ 評価結果等をもとに本省・労働局による重点指導や好事例の全国展開等を実施。
 - ① 評価結果等をもとに労働局・ハローワークに対する問題状況の改善指導
 - ② 改善計画を作成、本省・労働局が重点指導（評価期間終了後）
 - ③ 好事例は全国展開（評価期間終了後）
労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークによる交流会も開催